

和気アルプス

[※ 実施日—2024年04月9日(火)]



(ハイライトシーン)

※弥生班 計6名

① (烏城公園)



② (岡山城)



③ (岡山後楽園)



⑥ (ミツバツツジの中を山行開始)



⑤ (後楽園から見た岡山城)



④ (後楽園の桜)



⑦ (和気富士をバックに)



⑧ (穂高山)



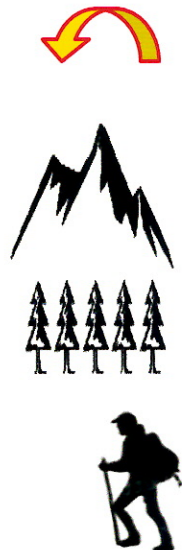
⑨ (涸沢峰)



⑪ (竜王山をバックに下山)



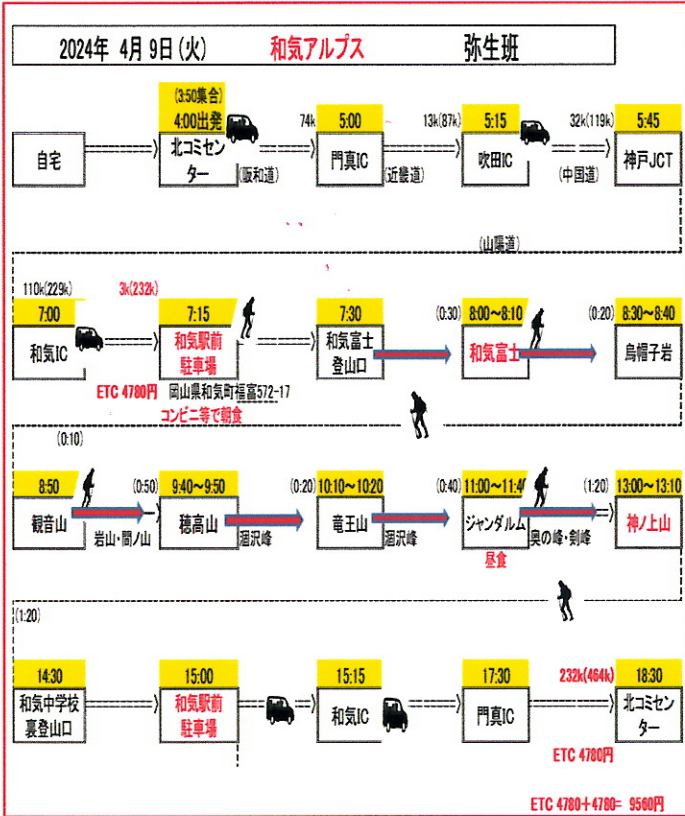
⑩ (竜王山)



和気アルプス

※(山行日) ---- 2024年4月9日(火)

※(行程) [予定]



(和気アルプスのロードマップ)



紀峰山の会 (弥生班)

(メンバー) ----- 計6名

木村和代、中濱麗子、河原アカネ、八木雅子
上畑進、有本昌和(CL)、

※[はじめに] (和気アルプス)

○和気アルプスは岡山県和気町にある和気富士～神ノ上山山系で170～370mの低山脈ですが、アルペン的な縦走ができ、クライミングゲレンデもあります。

※[結果]

○当初計画では、和気アルプス縦走であったが、午前中は小雨状態であったため岡山城と後楽園の観光に変更し、午後からは雨が止んだため、竜王山までの往復の短縮コースに変更して実行しました。

(往路---車移動---観光)

- 北コミセンター (出発) 4:00
- 岡山城 (到着) 9:00
- 岡山後楽園 10:30

(山行).

- 鶺鴒谷温泉 登山口 ----- 13:15
- 前ノ峰 ----- 13:40
- 穂高山 ----- 14:00
- 涸沢峰 ----- 14:10
- 竜王山 ----- 14:30
- 涸沢峰 ----- 14:50
- 穂高山 ----- 15:00
- 前ノ峰 ----- 15:15
- 鶺鴒谷温泉 登山口 ----- 15:45

(帰路---車移動)

- 鶺鴒谷温泉 (出発) 16:45
- 北コミセンター (到着) 21:30

(写真1)

(岡山城--①)



二・北コミ4時出発、現地9時到着、小雨状態

(写真2) (岡山城一②)



(余談) [岡山城]

・岡山城の天守は、外壁は黒塗りの下見板で覆われていて、烏城（うじょう＝「う」はカラスの意味）の別名があります。
また、発掘によると、宇喜多秀家時代の金箔瓦が出土しており、金烏城とも呼ばれます。

(写真3) (岡山後楽園)



(写真4) (後楽園から見た岡山城)



(余談) [岡山後楽園]

・岡山藩2代目藩主・池田綱政（つなまさ）が自ら憩いの場として築いた大庭園。
風光明媚な大名庭園！日本三大庭園ひとつ。

(写真5) (後楽園の桜で)



(余談) [日本三大庭園]

・日本三名園とは茨城県の偕楽園、石川県の兼六園、岡山県の後楽園。

(写真6) (和気富士をバックに)



二・雨が止み、午後から山行開始。

(写真7) (ミツバツツジ)



・急登やロープ、ミツバツツジの群生等変化に富んだコースを進む。

(写真 8) (穂高山)



・ 14 時、穂高山山頂到着。

(写真 11) (竜王山から下山)



(写真 12) (竜王山をバックに)



(写真 9) (潤沢峰)



・ 14 時 10 分

(写真 10) (竜王山山頂)



・ 14 時 30 分。

.....
(感想)

○数日前から天気予報がコロコロ変わり、実施の有無の判断が難しかった。登山口やコースの変更も事前に予定していたため、観光を含めて臨機応変に実施できました。

○登山道は明確な標識があり、急登、ロープで安定した登山道であり、途中にはミツバツツジが咲き、雨天後のため和気町の景観もはっきりと見え、岡山城の観光や鶴飼谷温泉での入浴も楽しみ、変化に富んだ旅ができました。
.....